

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成20年8月18日

**【四半期会計期間】** 第67期第1四半期  
(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

**【会社名】** 株式会社アイレックス

**【英訳名】** AIREX INC.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 馬場 芳彦

**【本店の所在の場所】** 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目14番9号

**【電話番号】** (045)476-3211

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 久次米 正明

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目14番9号

**【電話番号】** (045)476-3211

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 久次米 正明

**【縦覧に供する場所】** 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年8月14日に提出いたしました第67期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態及び経営成績の分析

###### (2) 連結財政状態の分析の（負債）の記述

#### 第4 提出会社の状況

##### 1 株式等の状況

###### (4) 発行済株式総数、資本金等の推移

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### 簡便な会計処理

独立監査人の四半期レビュー報告書

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

### 第一部企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態及び経営成績の分析

###### (2) 連結財政状態の分析の（負債）の記述

###### < 訂正前 >

流動負債は、本社工場の抵当権抹消のために金融機関からの短期借入金を全額返済するために親会社であるTCSホールディングス㈱から新規に短期借入を行ったことから前連結会計年度末より451,963千円増加し4,111,646千円増加いたしました。

###### (以下省略)

###### < 訂正後 >

流動負債は、本社工場の抵当権抹消のために金融機関からの短期借入金を全額返済するために親会社であるTCSホールディングス㈱から新規に短期借入を行ったことから前連結会計年度末より451,963千円増加し4,111,646千円となりました。

#### 第4 提出会社の状況

##### 1 株式等の状況

###### (4) 発行済株式総数、資本金等の推移

< 訂正前 >

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	30,000,000	45,417,400		1,540,000		1,510,000

< 訂正後 >

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年6月30日	-	45,417,400		1,540,000		1,510,000

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### 簡便な会計処理

< 訂正前 >

当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
2 棚卸資産の評価方法 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に 関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地 棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方 法によっております。 また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性 の低下が明らかなものについて販売可能価額まで簿 価切り下げを行う方法によっております。

< 訂正後 >

当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
2 棚卸資産の評価方法 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に 関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地 棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方 法によっております。 また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性 の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を 見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

### 3 段落目

#### < 訂正前 >

( 前略 )

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイレックス及び連結子会社平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

( 後略 )

#### < 訂正後 >

( 前略 )

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイレックス及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

( 後略 )

以上